



四季 ~四中の季節~

第3号 (6月)

『正しく学び 自他を尊重し たくましく生きる力を育み ふるさとと共に歩む』

令和8年6月4日発行

校長 関 勝 志

〒187-0045

小平市学園西町1-3-1

☎ 042 (341) 4344

Mail gakkou@34.kodaira.ed.jp

『生徒の、生徒による、生徒のための運動会』

校長 関 勝 志

5月30日(土)、雲一つない青空の下で、第62回運動会を開催しました。1,200人を超える保護者や地域の方々にご観覧いただくとともに、小平市長：小林洋子様、ならびに、教育長：青木由美子様にもわざわざ足をお運びいただき、ご観覧いただくことができました。とても光栄なことです。

運動会で特に大切にしていたこと(コンセプト)が2つあります。それは「生徒の力で創る」ことと、「誰一人取り残さない」ことです。かつて、アメリカの第16代大統領エブラハム・リンカーンが、国民が政治の主役であること(国民主権)について、「人民の、人民による、人民のための政治」と表現したように、「生徒の、生徒による、生徒のための運動会」をつくることを大切にしました。教員は生徒の力を信じ、練習から本番まで、たとえ失敗することがあっても、できる限り生徒に、運動会実行委員に任せようという気持ちで見守り、応援しました。保健体育科の教員と実行委員の生徒たちは何度も何度も話し合い、反省と改善を繰り返し、努力を積み重ねました。実行委員にとっては苦勞も多かったと思います。しかし、生徒たちはその期待にしっかり応えてくれました。

競技種目はもとより、入場行進やラジオ体操の練習にたくさん取り組みました。入場行進は約1分ですが、その1分で素晴らしい行進演技をするために、数えきれないくらいの時間を費やしました。ラジオ体操も同じです。「そろえる」ことにこだわりました。運動会は参加するものではなく、創り上げるものです。芸術作品のようなものなのだと思います。二度の全校練習では、教員の声はなく、最初から最後まで、実行委員が指示する声とそれに答える返事、かけ声だけが響いていました。「これが小平四中の運動会なんだ」とうれしくなりました。常にみんなの前に立ってクラスや学年を引っ張る実行委員とそれを支える仲間、そこには温かい心の交流(絆)がありました。運動が苦手な人にとってはしんどい2週間だったかもしれませんが、それでも頑張れたのは、きっと仲間の存在があったからだと思います。スローガン「絆のバトンパス」を実現していました。

運動会への関わり方には4つの形があります。それは「する、みる、支える、知る」です。競技や演技をすること。それを見て応援すること。係の活動を通して支えること。そして、目標に向かってベストを尽くす姿は素晴らしいものであり、仲間はかけがえのないもの、運動会は楽しいものだということ。競技に参加できなかった生徒も係の仕事や応援をしました。お休みしていた生徒も自宅で学校ホームページ(リアルタイムでの更新)を見て応援してくれていたのではないかと思います。自分にできる形で運動会に関わること。それが「誰一人取り残さない」小平四中の運動会です。

運動会は、3A前田結衣さんと、3D上三垣慧さんの選手宣誓で幕を開けました。

宣誓。私たちは「絆のバトンパス」というスローガンの下、みんなで協力し合いながら練習をしてきました。はじめは全員の気持ちがそろわず、体操や行進に一体感がありませんでしたが、練習を重ねていくうちにみんなの気持ちが同じ方向を向いていきました。その過程には、実行委員同士の学年を越えた絆づくりや、一人一人が何事にも全力で取り組み全員で創り上げるという熱い思いが詰まっています。今日はこれまでの練習の成果を発揮するときです。競技、集団での動き、係の仕事、応援のすべてで、3学年全体でやりきり、次の世代も憧れる最高の運動会にすることを誓います。

どの競技、どの演技にも、生徒たちの熱い思いが込められていて、心が揺さぶられる場面がたくさんありました。その一コマ一コマがドラマのようであり、青春の1ページでした。最終的には順位をつけ表彰しましたが、そこには「勝敗を超えた感動」がありました。特に最上級生である3年生の団結とひたむきな姿は素晴らしかったです。生徒たちが自分たちの力で小平四中の運動会を創り上げたことを誇りに思います。そして感謝します。ありがとうございます！

また、受付や会場整理でPTAの方々にご協力いただいたおかげで、事故なく終えることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



【キャリア講演会のご案内】 6月26日(金) ②校時:1年生 ③校時:2年生 ④校時:3年生

坂口シオン先生は、起業家・トータルライフプロデューサーとして、ビジネス界から教育界まで多方面でご活躍されています。坂口先生を講師としてお招きし、「個性を大事にし、人生を楽しむ方法」というテーマで、学年別にご講演いただきます。貴重な機会ですので、保護者の皆様にもご案内いたします。どの学年でも参加できますので、ふるってご参加ください。

■今年四中に来られた先生方より■

【武満優一 先生】武田信玄の名言『一生懸命だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつけが出る。』が好きな武満優一です。緑と川と虫が多い自然豊かなあきる野市から異動してきました。廊下ですれ違う時に『こんにちは』って気持ちの良い挨拶が小平四中の印象です。挨拶だけでなく、これからもたくさんの言葉を交わしたいと思っています。よろしくお願いします。

【山本義和 先生】本年度1年生と新しくスタートをしました山本義和です。小平は緑と都市が調和した素敵な町だと感じています。小平うどん、三好の酒饅頭、そして一橋学園駅前のトマトの味噌カツサンドウィッチとグルメも宝庫です。今の楽しみは生徒の皆さんと毎日笑顔で挨拶を交わすことです。「いつでもどこでも何度でも」をキーワードに、これからも挨拶を大切にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【羽鳥聖子 先生】小平六中から異動してまいりました、社会科の羽鳥聖子です。係活動や委員会活動、行事を生徒主体で創り上げていく姿に感心しています。社会の授業では、日本や世界の良さを学ぶ楽しさ、社会に出るために必要な力を身に付けられるよう、考える活動を増やしていきます。授業や委員会、部活動、日々の生活で成長する様子が今後も楽しみです。四中生が、心穏やかに笑顔で学校生活を過ごせるように努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします

【稲葉康恵 先生】東大和四中から異動してきました、稲葉康恵です。全学年の美術を担当します。専門は彫刻です。4月に玄関前で大きな彫刻に迎えられとてもうれしい気持ちになりました。美術の楽しさをみんなで感じることのできる授業を目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。

【市川佐季 先生】板橋区立加賀中から異動して来ました市川佐季です。技術家庭科家庭分野の担当と、1-Bの担任になりました。みなさんが実践的な知識・技能を身につけ、生活に還元できるよう頑張ります。裁縫・調理に苦手意識を持っている人も一緒にTRYしてみましょう♪ 家庭科、楽しみましょう！


【平瀬亮子 先生】府中七中から異動してまいりました平瀬亮子です。再び小平で働くことが出来て、幸せに思います。少しでも、わくわくするような楽しい授業を届けられたらと願っています。よろしくお願いします。


【野嶋航希 先生】本年度より小平四中に着任しました野嶋航希です。2学年社会科を担当させていただきます。四中生のみんなと、楽しく勉強できたらなと思っています。普段の学校生活でもたくさんお話ししましょう！ 四中のみなさん、これからどうぞよろしくお願いいたします。

【菅野圭汰 先生】4月から新しく教員になりました菅野圭太です。英語科で1年B組とF組の副担任をします。二か月間で学校生活の様々な場面で生徒の皆さんと関わり、日々新しい発見を得ています。皆さんが英語を使いたいと思える授業を目指して取り組んでいきます。よろしくお願いします。

【宮川葵衣 先生】今年度から教員になりました、宮川葵衣です。特別支援教室「一橋」の巡回指導教員をしております。四中のみなさんと関わる機会は少ないですが、行事や一橋を通じて楽しい学校生活を送れるようなサポートをしていければと思っています。よろしくお願いいたします！

■学校の外で…■

 **ちょっと残念なお話** 地域の方から四中生の登下校の態度についてご相談がありました。一つは、一位橋周辺で数人の生徒が溜まって通行の妨げになっているというもの。もう一つは、道路で石を蹴ったり投げ合ったりしている中で、歩行者や住宅に当たっているというものです。以前は、小さい子のお昼寝の時間に外で大声で喋っていて迷惑しているといったご相談もありました。四中の通学路は住宅地で道幅が狭い場所が多いです。地域の方々のご迷惑にならないよう配慮するとともに、交通安全等についても十分注意する必要があります。各クラスで指導するとともに、全校集会でも生活指導主任より全体指導を進めています。ご家庭におきましても、登下校時には周囲の歩行者や車両等の妨げにならないよう配慮するようお願いしてください。また、帰宅時間を把握していただき、寄り道をしないようご指導ください。

 **とってもうれしいお話** 国分寺市にお住まいの方から感謝のお言葉をいただきました。四中女子2名が塾へ行くために公園で待ち合わせをしていたところ、道に迷って自宅に帰れなくなっていた高齢の女性と出会いました。女子生徒たちは、その女性の自宅の場所を調べてあげましたが、一人にするのが不安だったため、国分寺市の自宅まで女性を送り届けたそうです。後日、その女性の身内の方からお礼のお電話をいただきました。見知らぬ人への対応の仕方としては安全面に配慮する必要もあると思いますが、純粋に「困っている人を助けたい」という気持ちを行動に表したことに人間的な美しさを感じました。

■6月の主な行事予定■

1日 振替休業日	10日 小・中連携の日	22日 生徒会朝礼
3日 専門委員会	12日 進路説明会(3)	24日 薬物乱用防止教室
4日 中央委員会	13日 こだいら特活の日	26日 月曜授業
5日 高校説明会(3)	15日 振替休業日	29日 全校朝礼
8日 全校朝礼 / hyper-QU	17日~19日 期末考査	30日 復習確認テスト(3)